

子育てのカタチは十人十色。



Profile NPO法人 キッズスクエア瑞穂 理事長 梶浦良子さん

1993年に親子で舞台鑑賞などを始めた「本業用子ども劇場」をスタート。2002年より「NPO法人キッズスクエア瑞穂-美奈」(現在のキッズスクエア瑞穂)を立ち上げ、自身の子育て経験はもちろん、教員や保育士、児童福祉士の経験も生かしながら、20年以上にわたって地域の親子や子どもたちを幅広くサポートしている。

パパママを応援する 小さなヒント

子どもを育てていると、いろんなことで悩む機会も多いはず。そこで今回は、瑞穂市を拠点に、子育て支援と子どもの体験活動を企画実施しているNPO法人キッズスクエア瑞穂を訪ね、20年以上の活動の中で、多くのパパママや子どもたちとの出会い、交流から得られた子育てに役立つヒントを聞くことができました。

子どもを信じて「自分で決める力」を育てる

子育て中の親同士で交流を深め合う「キッズパーク」や、子どもの育てにくさに困っている親同士で集まる「りんくる」、託児つきのリフレックシブ講座「こっこクラブ」、中学校の授業で生徒たちが「対」の託児を体験する「乳幼児ふれあい保育体験」など、様々な場や幅広い子育て支援活動を行っているNPO法人キッズスクエア瑞穂。

今回はここで理事長を務める梶浦良子さんに、子育てをテーマに話を聞きました。

「近年はスマホや家電の進歩で子育ては楽になっていると思われがちですが、実は、地域との交流が少な

くなり、共働きで忙しい親御さんへの負担が増えて、昔よりも大変になっていると思います。」

そんな中で、どうすれば子ども達も主体的に成長していけるのでしょうか？

「大切なのは、今日は何を着ていくのか、傘を持って行くか、という小さな、毎日の小さな事から自分で決める経験をたくさんさせてあげることです。そうすることで子どもの中に、成功体験はもちろん、たとえ失敗しても、それも貴重な体験になるのです。自分で決めたら、失敗しても人のせいにはできません。失敗の責任を自分で負う、また、成功して自信をもつ、そういう経験の積み重ねが、将来人生の大きな決断をするための力になっていくと思います。失

敗させたくない親にとっては、ちょっと我慢が必要ですが、自分で決める力があることを信じてもらえて、応援してもらえることが子どもの自信になっていくのですね。

地域に出て交流することで たくさん学びや気づきがある

キッズスクエア瑞穂は、瑞穂市・本巢市のファミリーサポートの事業も行っていきます。

「もっと周りを頼っていいんです。一人で抱え込み過ぎないで、お子さんを人に託すことも大切です。また、同じように子育てをがんばっている人たちがいることを知り、親子で関わり合う機会も増やして欲しいです。」と梶浦さんは訴えます。また、子育て世代の交流も重視し

子どもたちは、一人ひとりの個性があります。声を聞き、笑顔と幸せを見守りましょう

ており、「子育ての正解は決して一つではありません。様々な人の経験や意見を聞き、「そんな考え方・やり方もあるんだ」と発見する中で、自分で「こうしてみよう」と決めた事を実行していけばいいんです。そして、自分の子以外の子ども達と接すること、親の視野が広がり、わが子のことがより分かるようになったり、時には、他の親御さんの視点から、自分では気づけなかったわが子の長所を発見したりすることも。「私たちはサポートを求めている人や悩みを抱えている人も、ここに集まる皆さん一人ひとりが、ほかの方にとって大切なリソース(資源)になれる大切な存在なのだと考えています。」

子どもも親も幸せに一緒にゆつくり成長しよう

子どもが小学校に通う年齢になると、環境の変化に戸惑い、不安を抱え、「学校に行きたくない」とつぶやくことがあるかもしれません。文部科学省によると、小中学校の不登校は2年連続で増加。特に2020年以降は、「コロナ禍の影響が続いている」ともあり、わずかな数年で15万人も増えているというデータが出ています。

「幼い頃は元気いっぱいよく笑っていたのに、いつしか少しずつ、笑顔が失われてしまったら……。私もこの

活動を通してそういう場面に何度も直面し、深く考えさせられました。

それでも「行きたくない」と自分の気持ちや言葉にできた子は、言えてよかったです。本日は辛くても「親を悲しませたくない」「がんばらなくちゃダメだ」といった思いで、言い出せず、我慢している子ども達もいるのではないのでしょうか。子どもには、一人ひとり違った性格や得意・不得意があります。それと同じように、生き方にもいろいろな選択肢があっただけです。だからこそ、「笑顔でいられないなら、無理して行かなくても大丈夫だよ」と伝えることも、大切な選択肢の一つだと思います。

その子が幸せであること。そして、毎日笑顔で過ごせているかどうか、何より大切なことと、梶浦さんは教えてくれました。

「みんなと同じをめざす社会はもう終わっているのではないのでしょうか。みんなとは違うかもしれないけど、自分はこうしたい！」が実現できる社会にしていきたいですね。地域の皆様にも、そんな価値観で子育てを見守っていただきたいです」と前を見据えます。

キッズスクエア瑞穂では、0歳から2歳の小さな子どもたちが通う、まめつこ保育園も運営しており、日々、子どもたちからたくさん学んでいる

という梶浦さん。「親だって、おとなだって、学びの途中。失敗もしながら、泣いたり、怒ったり、笑ったりして、少しずつ子どもと一緒に成長していけばいいのではないのでしょうか」と微笑みます。

最後に、梶浦さんが子育てのヒントの一つとして教えてくれたのは、「子どもの権利条約」について学ぶことです。これは、1989年に国連総会で採択され、世界中で広く受け入れられている子どもたちの権利についての国際条約です。子どもは守られる対象であると同時に、一人ひとりが権利を持つ主体であるという考えに基づき、「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」そして、「参加する権利」の4つを主な原則にしています。詳しくは左記のQRを読み込み、チェックしてみてください。

子どもの権利条約とは 詳しくはこちらをチェック

Information NPO法人キッズスクエア瑞穂

瑞穂市馬場春南町1-49 ☎058-326-2236 kids.sq@dream.com

キッズパーク 乳幼児の子どもを持つ子育てママ同士で、子育てのことなどについて自由に話します。親子でも、親だけでも参加可能! **日時** キッズスクエア瑞穂 南事務所 **開催予定** 3月5日(水)10:00~15:00

りんくる 障がいがあったり、育てにくさを感じる子を持つ親のおしゃべり広場(子ども連れOK)。大きい子どもの親も参加できます。 **日時** キッズスクエア瑞穂 事務所 **開催予定** 3月14日(金)10:00~14:30

公式WEB 公式LINE ほかにも定期的にさまざまな取り組みを実施。詳しくは公式ウェブサイト。



子どもたちの気持ちにちゃんと耳を傾けていますか?